

### 水沢弓道場の遠的場が完成

2016年の希望郷いわて国体に向け、水沢弓道場の近的場（的まで28m）の脇に建設中だった遠的場（的まで60m）が3月に完成しました。

これにより、水沢弓道場は全国でも珍しい遠近併設施設になりました。2015年8月の国体リハーサル大会、2016年10月の国体本大会で、それぞれ競技会場として使用します。



遠的弓道場の新築工事は、(独)日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金の交付を受け、実施しました。

### 祝

## 百歳おめでとう

市は、4月に満百歳を迎えた2人に記念品を贈り、長寿を祝いました。

**千田富美子さん** 前沢区字七日町IIは一関市萩荘に生まれ、22歳で故・深治さんと結婚。4男3女をもうけ、孫13人、ひ孫9人に恵まれました。セメント瓦の仕事をする夫を支えながら、縫い物などに精を出してきた富美子さん。以前は新聞や雑誌を読むのが好きで、今は自動車に揺られるのが楽しみだそうです。

**富美子さん**は「子どもたちがみんな元気であることがうれしだいそうです。」



及川克彦前沢総合支所長より記念品を受け取り笑顔の富美子さん



100歳を祝う家族や親戚に囲まれるハルノさん

「うれしい」と話していました。

**石田ハルノさん** 前沢区字長檀IIは同区生母に生まれ、昭和10年に故・直吉さんと結婚。1男3女に孫8人、ひ孫12人に恵まれました。戦時中、直吉さんが出征したときは、女手一つで家庭を守りました。農家の嫁として一生懸命働き、収穫したリンゴを背負い列車で宮城県まで売りに行ったことも。朗らかで穏やかな性格のハルノさん。周囲の人からとても好かれていたそうです。親戚から花束を受け取ると、ハルノさんは「ありがたい」と感謝していました。



市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー(以下「ILC」計画)」について最新情報をお届けします

# 希望のひかり

第19回

市は、次世代を担う子どもたちへILC計画に対する理解を深めてもらうため、今年度から中学生を対象としたILC出前授業を実施します。今回はこの授業の内容を知らせします。

### 中学校へILC出前授業

この授業は、NPO法人イーハトーブ宇宙実践センター(大江昌嗣理事長)に委託して実施予定。5月20日の田原中学校を皮切りに、12月まで市内全12校の2年生全クラスを対象に行います。講師は、市民や子どもたちに科学の楽しさを伝える活動に取り組んでいる、同センターのサイエンスコンダクターなどが務めます。授業は2時限で実施。1時限目は国立天文台の教授などが講師となり、ILCだけでなく宇宙や科学に対する興味を引く授業を行います。2時限目は、同センター



出前授業に向け綿密に打ち合わせ

のサイエンスコンダクターが中心となって講師を務め、ILC計画の説明やILCに係る実験を行うほか、将来自分とILCがどう関わるかを考えてもらうグループワークを行います。

同センターでは、昨年度か

ら同授業の開始へ向けた準備を進めてきました。市は、同授業の講師養成を目的として、昨年度末に高エネルギー加速器研究機構(KERK)の藤本順平理学博士や東北大学大学院の石川明正助教を講師とした講座を実施。現在、同センターで5月20日のスタートに向け最終調整を行っています。市はこれまで、一般市民を主な対象とした講演会などを実施してきました。昨年8月に北上山地がILC建設候補地に選ばれたことを受け、今後は、子どもたちにもILC計画について学んでもらい、興味を持ってもらえる取り組みに力を入れていくことにしています。出前授業により、子どもたちのILC計画に対する理解が深まり、将来に対する夢や希望が広がることを期待されます。

### 東北ILC推進協議会が総会を開催

東北ILC推進協議会(代表・里見進東北大総長、高橋宏明東北経済連合会長)は4月22日、仙台市内で総会を開催。政府への要望に向け、資金分担の国際調整や早期の誘致表明を求める決議を採択したほか、地域課題の検討や加速器関連産業の育成・集積に向けた取り組みなどの本年度事業計画が承認されました。総会後、東京大学素粒子物理国際研究センターの山下了准教授が講演。オールジャパンでの機運を高めるため、地域で楽しみながらできる社会参加型のプロジェクトを実施する必要性を訴えました。



関係者が多数出席した総会の様子

### =今後の予定=

- ▶ 5月18日(日) 市ILC推進連絡協議会総会(午後2時~)・講演会(午後2時半~)[会場:江刺総合支所]※受講者受け付け中
- ▶ 6月6日(金) ILC計画講演会(午後1時半~)[会場:市文化会館(2ホール)]
- ▶ 8月23日(日) ILC計画講演会(時間未定)[会場:市文化会館(2ホール)]

### 自然環境調査を実施しています

県では、昨年11月から実施していたILCの建設候補地周辺の環境調査に続き、4月から6月にかけて、鳥類の生息種を確認する調査を実施しています。委託先の調査員が調査範囲内の河川や山林に立ち入りますので、ご理解をお願いします。

- 調査範囲=江刺区伊手地区、米里地区、玉里地区、梁川地区
- 問い合わせ=県政策地域部科学ILC推進室(☎019-629-5217)、[委託先]日本工営(株)北東北事務所(☎019-622-6491)

### 姉妹都市 掛川だより



「茶」文字を背に初摘みをする地元女性ら

### 世界遺産認定後初の新茶摘み 心に響くお茶づくりを

昨年5月、世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」を実践する東山地区で4月23日、「茶草場農法認定茶の初摘セレモニー」が行われ、市や地元関係者ら約30人が認定後初となる一番茶の初摘みを盛り上げました。

セレモニーは、粟ヶ岳(標高532m)の「茶」文字を背に行われ、テープカットのあと地元婦人部らが茶園に入り、新芽を丁寧に摘みました。

掛川市農業活性化地域塾東山地域塾の杉浦敏治塾長は「今年は適度に雨が降り、おいしいお茶が期待できる。世界農業遺産に恥じない、みなさんの心に響くようなお茶づくりをしたい」と抱負を熱く語りました。